

環境

ひろば 国分寺

発行 国分寺市環境ひろば
国分寺市

第203号 令和7年11月16日

12月の環境ひろば

第42回

国分寺まつりを振り返って

国分寺

まつり



11月2日(日)開催の国分寺まつりに、環境ひろばも出展しました。ブース来場者やクイズ・アンケートの集計、来場者の様子などから出展内容の振り返りをしていきます。



【第250回環境ひろば】(当日直接会場へ)

日時:令和7年12月21日(日) 会場:会議室201(市役所2階)

秋の東京都“里山へGO!”開催しました！

恒例の親子自然体験作業・学習を10月12日(日)姿見の池緑地保全地域で開催、天気にも恵まれ、都内各地から31名が参加しました。東京都の「緑の取組」に基づき、プログラムは①下草刈り・伐木作業、②植物多様性保全・確保をめざし植物観察、ドングリ・枝等森の材料を使ったクラフトづくり。

スタッフは、東京都、姿見の池緑の会、国分寺市にふるさとをつくる会、看護師を含め、総勢25名でした。東京都が実施したアンケートでは以下のようない感想がありました。

- ・下草刈りは、子供には難しかったが、親子ともども楽しかった。
- ・いろいろな材料を使ってのクラフトづくり、子供も喜んでいた。
- ・子ども達が想像力を發揮する姿を見て楽しい。



下草刈り



ドングリ等を使った細工

(環境ひろば会員 白木昭憲)

【10月の環境ひろば フリートーク「生物多様性と温暖化」】

令和7年10月19日(日)の環境ひろばのフリートークでは、「生物多様性と温暖化」をテーマにフリートークを行いました。

当日は、環境ひろば会員から生物多様性に温暖化が与える影響に



姿見の池緑地保全地域の樹木枯れの様子

について、姿見の池緑地保全地域で見られる影響について、話題提供がありました。

温暖化の進行が生物多様性に与える影響については、現時点では推測の域を超ませんが、姿見の池緑地保全地域では、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ、ハチの大量発生、キヨウブ(外来種)の繁茂など生態系の変化が進んでいるとのことでした。

また、樹木枯れについては、樹木医の診断のもと、外観では分からない、内部の腐食状況を確認し、60本以上の落葉樹を伐採したとのことです。今後、コナラ、クヌギを萌芽更新や実生による苗木移植などで増やしていく方針であることも報告されました。

参加者からは、市内におけるキンラン、ギンランやブナの減少、東北地方のクマ被害の増加などについて、温暖化の影響も考えられるのではないかといった意見も出ました。(事務局作成)

国分寺市は、「生態系」「種間」「種内」の生物多様性に恵まれています。この多様な生物に囲まれて私たちも生きています。さらに、緑・湧水・農地に生きている生き物との共存は極めて大事だと思います。今回は樹木等の保全活動への取組について学びました。一朝一夕では解決しきれない大変さを感じました。

私が取り組んでいる野川の整備計画も生物多様性の保全の観点からも重要だと感じました。国分寺の野川も自然豊かになれば、魚・カワセミなどが戻ってくるでしょう。湧水が減っている事も同様で、緑地、農地の減少により、湧水量が落ちていること、みんな関連していると改めて思いました。



「樹冠被覆率」の大幅低下で都会は深刻だと思います。

(環境ひろば会員 前澤)

繁茂するキショウブ

環境ひろばのお知らせ

12月21日(日)午前10時～正午 市役所 会議室201(泉町2-2-18)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

(あとがき)

国分寺市が東京都の中で、一番地盤が固いと最近知りました。旧石器時代から人が住み、国分寺が出来たのもそうした背景と改めて思いました。環境への対応もそうしたことに思いを馳せて取り組みたいです。

(前澤)

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 環境経営課

〒185-8501 国分寺市泉町 2-2-18 市役所3階

TEL:042-312-8663(直通)

FAX:042-325-1380

Eメール:kankyoukeiei@city.kokubunji.tokyo.jp